

- 1 自ら学び自ら考える生徒
- 2 認め合い協力する生徒
- 3 明るくたくましい生徒

燃える闘魂 輝く一条

2023（令和5）年の幕開け 本年もよろしくお願いします

17日間の冬休みが明け、1月10日に全校集会をテレビ放送で行いました。その際、今年大切にしてもらいたい漢字一字「夢」を生徒に伝えました。ここ数年、コロナや世界・経済情勢の影響もあって、社会全体が毎日目の前の事をどう乗り越えていくかということに縛られています。それは学校も同様で、感染症の拡大が起らないように、明日も学校に登校してもらえるようにと、身の回りの

夢
yume



「私にも夢があります。いつか蕎麦屋さんになることです。蕎麦屋になれなくても、食べた人が『美味しい』と言ってくれる蕎麦が打てるようになりたいです。」と生徒に伝えました。夢の実現のため、年末には年越し蕎麦を18人前、年明けにも10人前打ちました。

ことに目を向けることが多かったと思います。

しかし、未来を生きる子どもたちにとってはそれだけでは不十分なのです。今後の人生を見つめ、未来に夢と希望を持ち、その実現のために努力し、挑み続ける人であってほしい。そう願っています。

「いっしょに読もう！新聞コンクール」で生徒2名が奨励賞、一条中が優秀学校賞を受賞の快挙！

生徒は、毎日切磋琢磨して文武に取り組んでいます。今回は、その一つである日本新聞協会第13回「いっしょに読もう新聞コンクール」での成果をご紹介します。このコンクールは、全国から新聞記事の感想文を募集して行われるもので、今回は5万6998作品（うち中学生2万3397作品）の中から、最優秀賞3（中学生1）、優秀賞30（中学生10）、奨励賞118（中学生41）作品が選ばれました。本校からは、3年生の神永すみれさん（「女性の家事、育児を支援 活動広がる『産後ドゥーラ』 頼れる人の減少背景に」下野7月30日付朝刊）と1年生の菅原花柚さん（「情報 バリアフリー目指す」読売7月5日付朝刊）の2名が奨励賞に選ばれました。12月23日の表彰朝会で表彰伝達を行いました。



Newspaper in Education

そして、本校も「新聞に触れる日常的な活動を含め、特に熱心に取り組んだ意欲的な学校。全校レベルでの取り組みなど、注目すべき点、特色がある学校」という理由で、15校（中学校5）しか選ばれない優秀学校賞をいただきました。本校では、新聞記事の教育活用（NIE）に長く取り組んでいます。今年度は、平山先生と菅野先生が毎日届く各社の新聞を多目的ホールに展示したり、新聞クラブの指導にあたったりと頑張ってくれています。



奨励賞を受賞した神永すみれさん



同じく奨励賞の菅原花柚さん



菅野先生（左）と平山先生（右）

いっしょに読もう！新聞コンクール 家族や友だちといっしょに記事を読み、感想・意見などを書いて記事とともに応募するこのコンクールは、「主体的・対話的で深い学び」を重視する学習指導要領の理念も念頭に置いた企画です。自分一人の感想・意見の表明だけではなく、周囲の人の意見も聞いて、より深く考える機会を提供することをねらいとしています。

久々の雪・・・校庭に謎の地上絵が出現！

今日は午前中から雪となりました。校庭がうっすらと白くなり始めたころ、不思議な縞模様が浮かんできました。それを見た生徒から「校長先生、あれなんですか？」と聞かれ、「多分、暗渠だよ」と答えました。

「あんきょ・・・？」 暗渠とは、地下に埋設された外からは見えない水路のことです。校庭に降った雨が地面にしみこんでも、水の逃げ道がなければ校庭はぬかるんで使い物になりません。そこで、地下に小さな穴がたくさんあいた管を埋め、そこにしみこんだ雨水を管を通して排水する仕組みです。

すでに江戸時代の五街道などでも使われた土木技法です。校庭に大型の車を入れてしまうと、この暗渠がつぶれてしまい、排水が利かなくなった校庭は雨が降ると何日も泥だらけになってしまうのです。

暗渠の内部の空気が土より温度が低かったため、その上の部分だけ雪が溶けずに模様として残ったのですね。



給食費の値上げも検討せざるを得ない 学校給食の現状をお知らせします

給食室空調設備の工事に伴う実質14日間給食提供中断に際しましては、保護者の皆様にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。毎朝のお弁当作りは大変だったと思います。真夏の給食調理室は、揚げ物を行う日には室温が40℃にも達することがあり、衛生的にも調理員の健康上も大きな課題となっていました。これからも、より安全安心な給食の提供を進めていきたいと思っています。



さて、昨今の物価上昇は、学校給食にも大きな影響を及ぼしています。昨年8～9月には牛を豚、豚を鶏に変更したり、魚の切り身を小さくしたり、デザートをカットしたりと、限られた予算の中で工夫しておりましたが、10月に市の補助金（生徒1人あたり約541円/月）支給が決定し、子どもたちの楽しみにしている給食を何とか維持できるようになりました。しかし、その補助金も3月末で終了します。このままでは、給食で提供したい栄養価、エネルギー量を充足することが困難となりそうです。食育や地産地消といった点でも問題です。

そこで、苦渋の選択ですが、現在、4月からの給食費の値上げを検討しています。PTA理事会とも相談しながら、年度末には結論を出し、皆様にご通知したいと考えております。

地域未来会議が実施されました（会議の様子は、うつのみやケーブルテレビで2月13～19日に放映！）



1月21日（土）、一条ネットワーク会議（学校園の4校地域協議会の合同体）主催の「地域未来会議」が開かれました。地域の目指す姿について生徒と地域の大人が話し合い、ともに解決していくきっかけとすることが目的です。

当日は、生徒の代表19名と80名を超える地域の方々が参加してくださいました。全体会の後、「安全・安心」「環境・緑化」「地域交流」「地域の活性化」の4分科会に分か

れ、熱心に意見交換が行われました。

18歳に成人となる現代、中学生のうちから地域社会に目を向け、課題に取り組もうとする意欲を持つことは大変重要です。自らの意見を表明し、地域の人々の意見を聴き、具体的に行動に移すことで、子どもたちはたくましく成長していくと思います。



住み続けられる
まちづくりを
都市と人間の居住地を
包摂的、安全、強靱か
つ持続可能にする

一条中は、SDGs（持続可能な開発目標）に関する学習を実践し、その達成に向けて努力しています